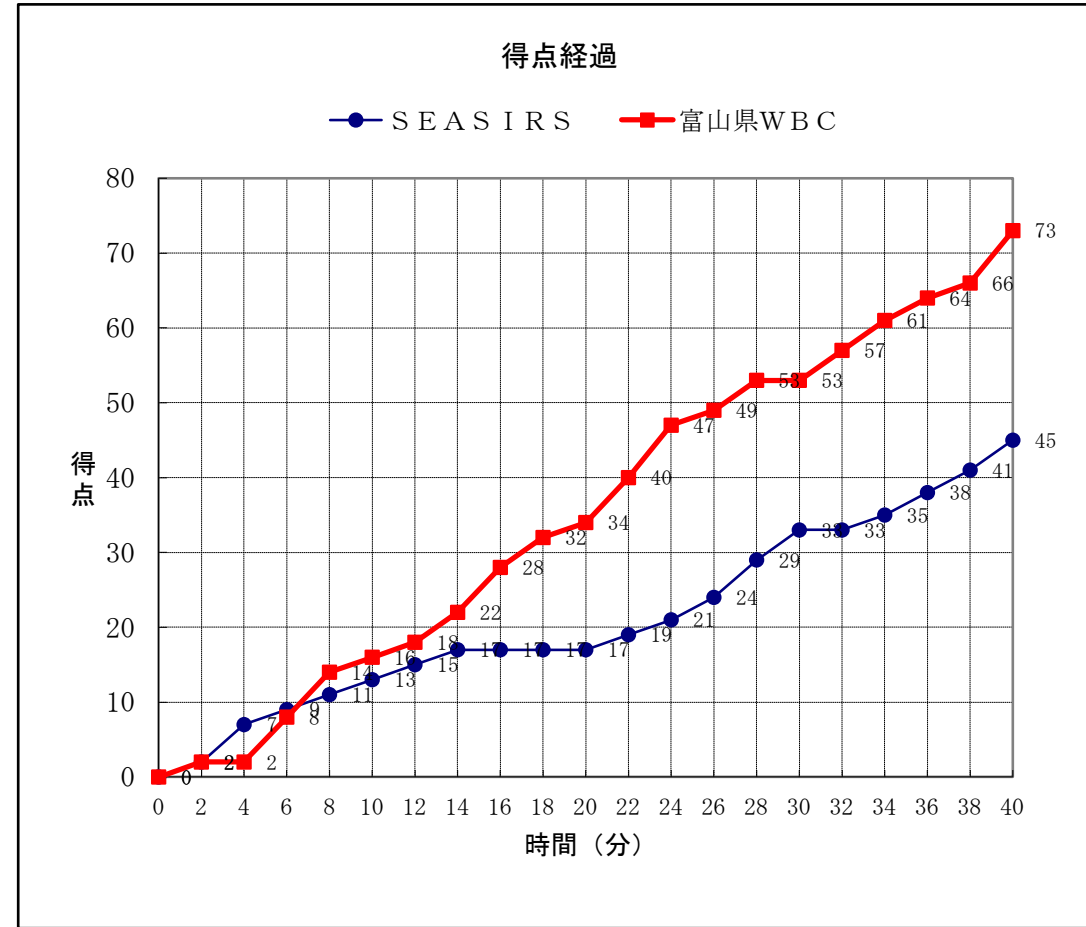


「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2012年5月2日 18時30分開始																	
2回戦 東京体育館 B - 3																	
SEASIRS 45 (九州)										富山県WBC (東海北陸)							
13 1クォーター 16										◎							
4 2クォーター 18										73							
16 3クォーター 19										富山県WBC							
12 4クォーター 20										(東海北陸)							
番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	神里 和彦 (1.0)	0	0	0	0	-	-	3	* 5	森 泰誠 (2.0)	7	0	3	1	-	-	0
5	伊波 朝一 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	6	松元 健悟 (3.0)	2	0	1	0	-	-	0
* 6	野原 寿浩 (2.0)	3	0	1	1	-	-	2	7	島 正樹 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
7	砂川 一雄 (4.0)	0	0	0	0	-	-	3	* 8	高田 淳一 (2.0)	18	0	9	0	-	-	0
9	福原 兼吾 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0	* 9	堀田 良明 (4.0)	8	0	4	0	-	-	0
* 11	井黒 男 (4.0)	18	1	7	1	-	-	2	10	円山 真一 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
* 12	池村 祐司 (4.5)	14	0	6	2	-	-	3	11	安田 武志 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
13	請舩 幸之助 (2.0)	8	0	4	0	-	-	4	* 12	宮島 徹也 (4.0)	27	0	13	1	-	-	0
* 14	新城 茂人 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0	13	浦田 菖伍 (3.0)	3	0	1	1	-	-	0
15	當間 満 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-	14	中村 昌樹 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0
									15	平山 丈貴 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
									16	中川 高充 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
									* 17	野澤 拓哉 (1.5)	6	0	3	0	-	-	0
									18	岩井 孝義 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0
HC	新垣 直文								HC	島 正樹							
AC	川副 裕一郎								AC	堀 郁也							
マネージャー	比嘉 綾乃								マネージャー	沢崎 優美							
マネージャー	照屋 明日香								マネージャー	島 好美							
									マネージャー	安田 世紀子							
									トレーナー	高田 彰人							
合計		45	1	19	4	0	0	17	合計		73	0	35	3	0	0	0
主審： 松元建 副審： 立田裕志 副審： 吉安ゆみ																	



〔戦評〕

SEASIRSの4番6番11番12番14番がスタートで対する富山県WBCは5番8番9番12番17番。
ローポインターでの身長差がSEASIRSのほうがやや高いが、相手ともにバランスが取れているように思われる。
4分経過し、ファールをもらった富山がフリースローを決めて、カウントでフリースローを決めて、3点追加で均衡を破った。
SEASIRSのオールコートマンツールで富山がボール回しに苦戦し始めSEASIRSの速攻と11番のアウトシュートで点が開かず、富山が3点リードで終了。

SEASIRSの11番と12番へのプレッシャーが厳しくなり、富山の2面速攻が決まり、5分のタイムアウトまでに富山は9点差をつけて勝っている。
そのままの勢いで富山はディフェンスを強め、パスカットやシュートミス誘っての速攻からダブルスコアのまま終わった。

富山はSEASIRS12番を完全にマークし、確実にポイントを重ね4分経過時、ダブルスコアにまで差を開けた。
SEASIRSが反撃するもチームファールがかさみ、11番が得点を増やすも富山12のシュート率も増し、富山がリードを守った。

SEASIRSは12番がボール回しに加わり、11番がセンターに入ったり、3ポイントシュートを決めるなどさまざまなスタイルでポイントを重ねていくが、富山12番のコンスタントに入るシュートと全員で守るディフェンスにより点差はなかなか縮まらない。
残り3分を切って、タイムアウトの後SEASIRSは各々が3ポイントシュートを狙い、きっちりリバウンドを取るスタイルに変える。
残り1分SEASIRSはボールプレッシャーを強めたディフェンスにするが、なかなかカットに至らず焦りからかシュートミスも増えた。
富山リードにて終了となった。